



通信 2008/02/12 健康／環境／科学／電気通信／IT／Steiermark

携帯電話用アンテナが原因で癌の危険率が増加することが新たな科学的事例研究により確認された。

グラーツ付近にあるCーネット携帯電話用アンテナの200メートル周辺にて癌の集計を保健省が審査した結果である。

グラーツ（オーストリア通信（APA））より。`携帯電話用アンテナの200メートル周辺では、癌に患る率が有意に増加する`との指摘がザルツブルグの環境医師 Gerd Oberfeld 博士により 2005 年 Steiermark 州保健局からの指示で研究でされていた。

癌のデータは、1984年から1997年までCーネット（NMT450）携帯電話用アンテナ基地があった Vasoldsberg/Hausmannstaetten（グラーツ郊外）地域のものである。

研究の発端は、この地域住民の癌患者発生数の多さであった。これは、Gred Oberfeld 博士の研究で確認された。この研究では携帯電話用アンテナ基地が要因であると仮定された。アンテナ基地の半径 1200m 周辺を調査した。コントロール群として3種類の異なる標本が用いられた。1種類は研究対象となる地域に5年以上在住する住民である。最も重要な例としては、1242名（のコントロール群）に対して67名の癌患者発生（医療記録に基づき死亡も含む）である。

3標本の1つでは、睡眠中（84名）に基地局の横 25m までテスト信号をセットして放射線の強さを測定した。また放射線の強さはコンピュータで計算した。測定値と計算値は非常に良く一致していると Oberfeld 氏は指摘している。`暴露研究には良いアプローチになりそうである。つまり、コンピュータによる計算結果は更に大きな標本を対象にしても適用できるであろう。Vasoldsberg/Hausmannstaetten はアンテナが わずか 8m の高さで、しかも住宅地の中心にあった例外的なケースであった。`と APA 討論で述べた。通常は約 2m のCーネット無指向性アンテナが高所に設置されている。アンテナ間の距離は普通 20~30Km である。Oberfeld 氏はまた` Hausmannstaetten の結果を確認するために類似の地点を検討するのは有意義であろう`と述べている。

公衆衛生当局の Styria Helmut (S) は、この研究結果に基づいて保健省の`電磁界が健康に与える影響`のワーキンググループに対して研究を直接担当するよう伝えた。このワーキンググループは来る2月の特別会議にて結果を調査し、必要ならば更に測定を続ける。

Cーネットは`車載電話C`としても知られており 13年後の 1997 年末に中止されている。

オーストリア同様他の西ヨーロッパの国々も、2004年以來 NMT450MHz システムのライセンスを再度獲得している。2006年にはオーストリアとスウェーデンのグリーンネットワークがTー携帯インターネットシステムのラジオ周波数を取得している。

2008年2月12日